

平成 21 年度環境技術実証事業検討会 VOC 簡易測定技術分野
ワーキンググループ会合（第 2 回）
議事概要

1. 日時：平成 22 年 2 月 25 日（木）10:00～12:00
2. 場所：三菱総合研究所 大会議室 B
3. 議題
 - (1) 環境技術実証事業 VOC 簡易測定技術分野のこれまでの経緯について
 - (2) 平成 21 年度実証試験経過について
 - (3) 本事業及び実証試験への要望、意見について
 - (4) 実証試験要領の見直しについて
 - (5) その他
4. 配布資料
 - 資料 1 これまでの経緯
 - 資料 2 平成 21 年度実証試験の実施状況及び試験結果概要
 - 資料 3 事業及び対象技術分野に関する要望・意見について
 - 資料 4 今後の検討スケジュール（予定）
 - 参考資料 1 平成 21 年度 VOC 簡易測定技術分野実証試験要領
 - 参考資料 2 ETV ロゴマーク改訂に関する改訂状況
5. 検討員出欠
出席：有菌座長、岩崎委員、佐々木委員、須藤委員
欠席：坂本委員、土井委員
6. 検討内容
議事に実証試験経過を含むため、会議は非公開で行われた。
 - (1) 平成 21 年度実証試験経過について
 - ・ 資料に基づき、実証機関より実証試験の実施状況、試験結果概要について説明がなされた。
 - ・ 客観的な性能試験結果を所有するメーカーは少なく、今回の試験結果は測定機器の改善につながる有益なデータであるという意見が出された。
 - ・ 各実証対象製品の課題と有用性に関して意見が出され、これらの意見を参考に今後技術実証委員会で議論して報告書を取りまとめることとなった。
 - (2) 本事業及び実証試験への要望、意見及び、実証試験要領の見直しについて
 - ・ 資料に基づき、事務局より事業及び対象技術分野に関する要望・意見について紹介がなされた。また、これらの要望意見に基づく、実証試験要領見直しのポイントが紹介された。
 - ・ 実証試験要領見直しのポイントについては、時期早尚であるといった意見が多く得

られ、実証試験要領の大幅な見直しは実施されないこととなった。特に本実証試験に関しては、今後も継続的に実施し、新たな取り組みは別の分野で実施すべきという意見が出された。ただし、室内環境など測定範囲の拡大については、慎重に検討すべきであるということが示された。

- 実証機関としては試験場所の確保が課題であるため、事業または行政による試験機関確保のためのサポートが必要であるという意見が出された。

(文責：環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室)